



平成29年8月30日

外国人ドライブ観光の促進に資する取組を実施します

～世界水準の観光地の形成を目指して～

北海道開発局では、「北海道総合開発計画」に掲げられた「世界水準の観光地の形成」に向け、我が国の「観光先進国」実現を北海道がリードし、政府目標（2020年 訪日外国人旅行者数4,000万人）の達成に貢献できるよう、インバウンド観光促進に向けた取組を行っています。この度、外国人ドライブ観光の促進に資する、下記の2つの取組を実施します。

記

1 北海道ドライブ観光促進社会実験：平成29年9月1日（金）～11月30日（木）【別紙1】

北海道におけるインバウンド観光の課題である閑散期の需要喚起と地方部への誘導を図るため、外国人ドライブ観光客に向けて、北海道、特に地方部の観光・特典情報等をスマートフォンのアプリケーションを通じて配信して各地への立ち寄りを促し、得られたデータから移動経路や立ち寄り地等を分析する社会実験を行います。

本社会実験は、アプリケーション開発及びデータ収集・活用に実績がある㈱ナビタイムジャパンが開発したアプリケーションを用いて、協働で実施します。

なお、実験期間中、新千歳空港国際線ターミナルビル1階にて社会実験のPR活動を行います。

平成29年9月5日（火）13：30～15：00に取材をお受けしますので、ご希望の方は、9月4日（月）17：00までに、以下の問合せ先（開発連携推進課）までご連絡ください。

2 スマートフォンへの情報発信による外国人ドライブ等の移動支援に関する試行：

平成29年9月1日（金）～10月31日（火）【別紙2】

外国人及び日本人ドライブ観光客を対象に、ドライブ観光に関する安心・安全を提供する仕組みを検証するための情報発信の試行を実施します。特に英語圏以外の外国人観光客には、多言語化された道路案内情報を提供します。また、道路協力団体が地域情報を発信する仕組みの検証も行います。

実施地域は新千歳空港～支笏・洞爺・ニセコエリアで、道の駅や駐車帯にICT機器（無線標識）を設置し、スマートフォンのアプリケーションを通じて道路案内情報や施設情報をプッシュ型で発信し、情報を受けた外国人の検索履歴、立ち寄り施設などの情報からニーズや課題を検証します。

提供する施設情報の例としては、道の駅やガソリンスタンド、コンビニエンスストアなどです。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

<北海道ドライブ観光促進社会実験>

開発監理部 開発連携推進課 開発企画官 本田 肇（内線 5433）

開発監理部 開発連携推進課 開発専門官 横田 弘史（内線 5441）

<スマートフォンへの情報発信による外国人ドライブの移動支援に関する試行>

建設部 道路計画課 課長補佐 松本 一城（内線 5355）

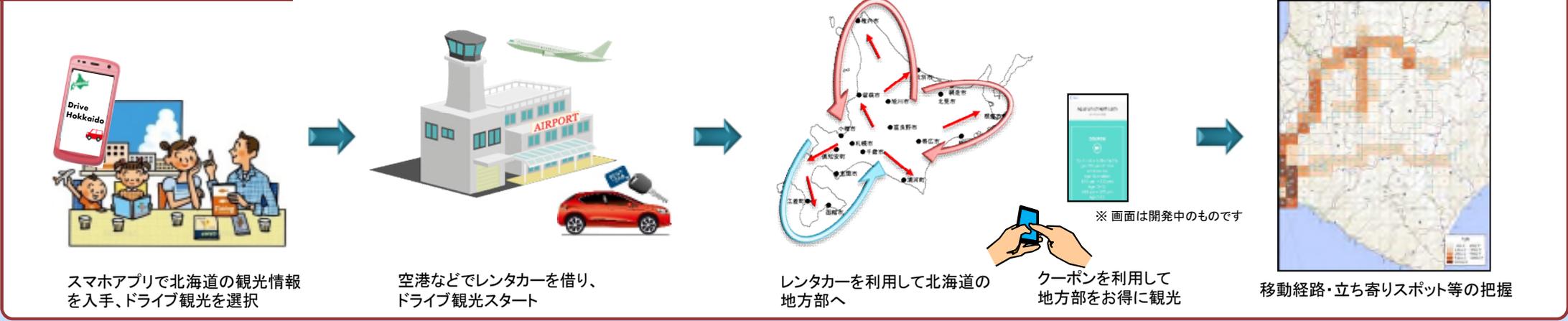
建設部 道路計画課 道路調査専門官 上村 達也（内線 5845）

北海道開発局ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/>



- 地域間・季節間の旅行需要の偏在緩和のため、平成28年度に引き続き、主に外国人ドライブ観光客を北海道の地方部へ誘導する社会実験を実施。
- 今年度の社会実験では、スマートフォン用アプリケーション((株)ナビタイムジャパン提供)を活用して、北海道、特に地方部の魅力的な観光資源や割引等の特典を提供する施設の情報等を効果的に発信するとともに、外国人ドライブ観光客の移動経路や立ち寄りスポット等を分析。検証結果を今後の観光施策やプロモーション活動等へ活用いただくことを期待。

社会実験のイメージ



社会実験の概要

- 実験期間：平成29年9月1日～11月30日(91日間)
- 対象地域：札幌市を除く北海道全域
- 対象者：主にレンタカーを利用する外国人観光客及び外国永住権を保有する日本人
- 観光情報：観光資源339箇所/特典提供施設249施設 ※特典を提供していただく施設は札幌市を除く北海道全域から募集
- 特典媒体：スマートフォン用アプリケーション「Drive Hokkaido!」(リリース済)
 ※社会実験協働実施者(パートナー)(株)ナビタイムジャパンの開発・提供です。
 ※本アプリのご利用は無料です。ただしダウンロードおよびご利用時の通信料は、自己負担となります。
- 対象言語：英語/中国語(繁体字)
- ホームページ：<https://hokkaido.japandrive.com> (日本語/英語/中国語(繁体字))
- フェイスブック：<https://www.facebook.com/japandrivecom/>
- インスタグラム：<https://www.instagram.com/japandrivecom/>



スマートフォンへの情報発信による外国人ドライブ等 移動支援に関する試行を実施します！

この度、自動車を利用して観光する外国人の方を対象にドライブ観光に関する安心・安全を提供する仕組みを検証するため、スマートフォンのアプリケーションを通じて道の駅や駐車帯での情報発信の試行を実施します。

- ◇試行期間 平成29年9月1日（金）～平成29年10月31日（火）
- ◇試行施設 新千歳空港～支笏・洞爺・ニセコ間の道の駅や駐車帯の道路休憩施設（計14箇所）
- ◇試行の概要 道の駅や駐車帯にICT機器（無線標識）を設置し、スマートフォンのアプリケーションを通じて道路案内情報、観光施設、ガソリンスタンド、コンビニエンスストアなどの施設情報をプッシュ型で発信し、情報を受けた外国人の検索、立ち寄った施設などの情報からニーズや課題を検証します。
- ◇情報発信内容 道路案内情報 計3箇所・・・韓国語、繁体字
民間施設情報 計132箇所・・・英語
⇒道路沿線の道の駅（15箇所）、コンビニエンスストア（41箇所）、ガソリンスタンド（33箇所）、温泉（13箇所）、飲食施設（18箇所）、観光・立寄施設（12箇所）の情報

▼利用者の流れ

①新千歳空港から北海道入り

レンタカー店にてスマートフォンにアプリケーションをダウンロード

※調査協力：トヨタレンタリース新千歳空港ポプラ店

②レンタカーを借りてニセコ・洞爺湖方面へ移動

③情報発信拠点に停車

ニセコ方面に移動途中、情報発信拠点に停車し、スマートフォンで各種情報を受信

※情報発信拠点箇所は別紙の『データ受信できる情報発信拠点の概要』を参照

▼情報発信拠点イメージ



スマホが
各種情報
を受信

▼スマートフォンへの情報提供イメージ



住所または電話番号またはマップコードをカーナビに入力することで道案内も可能に！

④ニーズに応じて立ち寄り

新千歳空港～ニセコ間の道路での
運転距離は約110 km



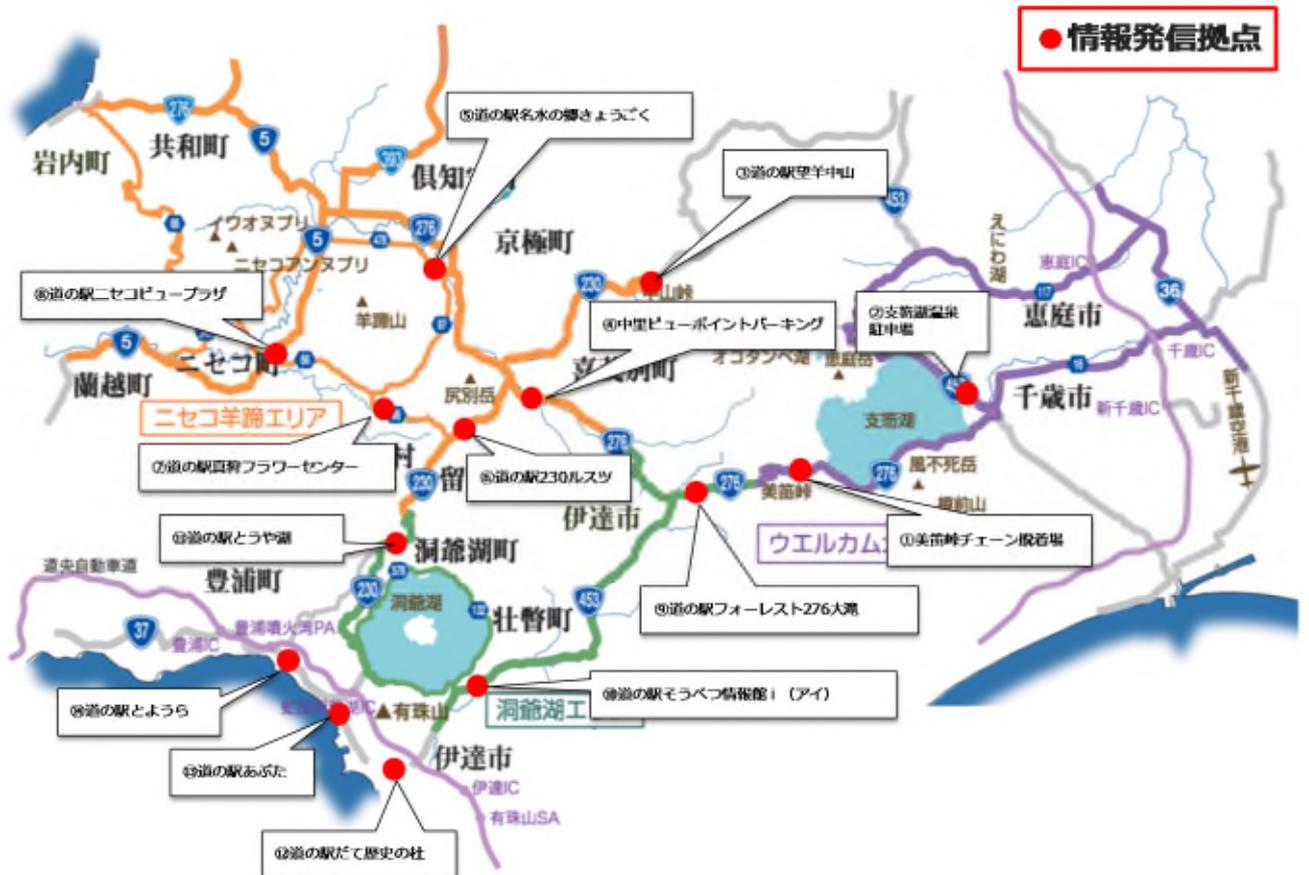
道路案内の
多言語表記
(韓国語・繁体字)



- ※ アプリケーションのダウンロードは無料です。Androidでの試行としています。
- ※ 通信料については自己負担となります。
- ※ 日本語での情報提供も行います。

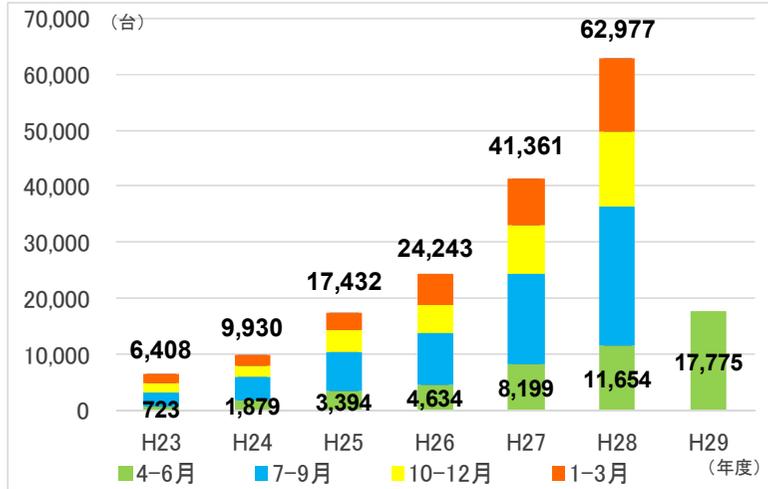
＜データ受信できる情報発信拠点の概要＞

①美笹峠チェーン脱着場 住所：千歳市美笹	②支笏湖温泉駐車場 住所：千歳市支笏湖温泉	③道の駅望羊中山 住所：虻田郡喜茂別町字川上 345 番地	④中里ビューポイント パークング 住所：虻田郡喜茂別町字中里 2 番地 9
⑤道の駅名水の郷 きょうごく 住所：虻田郡京極町字川西 45 番地 1	⑥道の駅 230 ルスツ 住所：虻田郡留寿都村字留寿都 127 番地	⑦道の駅真狩フラワー センター 住所：虻田郡真狩村字光 8 番地 3	⑧道の駅ニセコビュー プラザ 住所：虻田郡ニセコ町字元町 77 番地 10
⑨道の駅フォーレスト 276 大滝 住所：伊達市大滝区三階滝町 637-5	⑩道の駅そうべつ 情報館 i (アイ) 住所：有珠郡壮瞥町字滝之町 384-1	⑪道の駅とうや湖 住所：虻田郡洞爺湖町香川 9 番地 4	⑫道の駅だて歴史の杜 住所：伊達市松ヶ枝町 34 番地 1
⑬道の駅あぶた 住所：虻田郡洞爺湖町入江 84-2	⑭道の駅とようら 住所：虻田郡豊浦町字旭町 65 番地 8	【今年度の試行】 ◇実施エリアを拡大 情報発信拠点：昨年度 4 箇所⇒今年度 14 箇所 ◇多言語による道路案内情報を発信 道の駅⑫～⑭ 3 箇所	



◆外国人レンタカー貸渡台数の推移

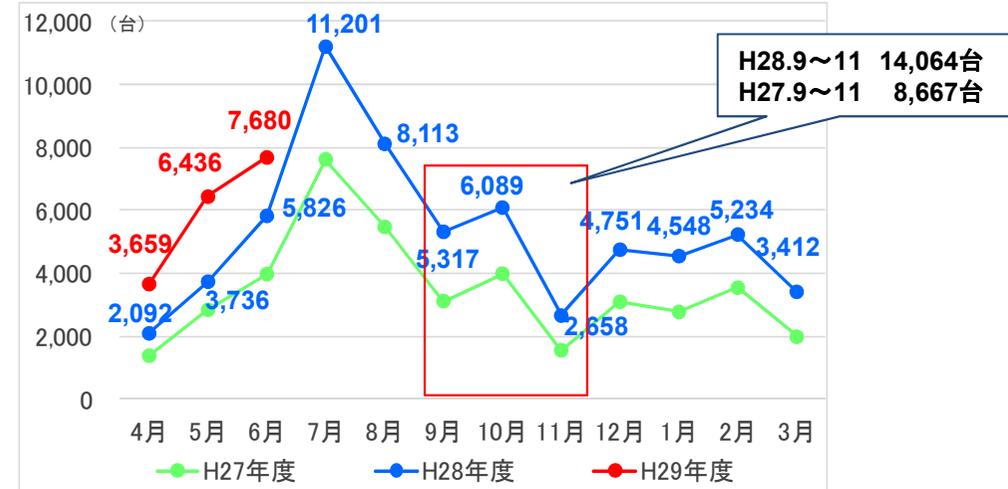
- ・H28年度の貸渡台数はH23年度と比較して9倍超
- ・H29年度第1四半期の貸渡台数は前年度同期の約1.5倍



出典:北海道地区レンタカー協会連合会調べ

◆月別外国人レンタカー貸渡台数の推移

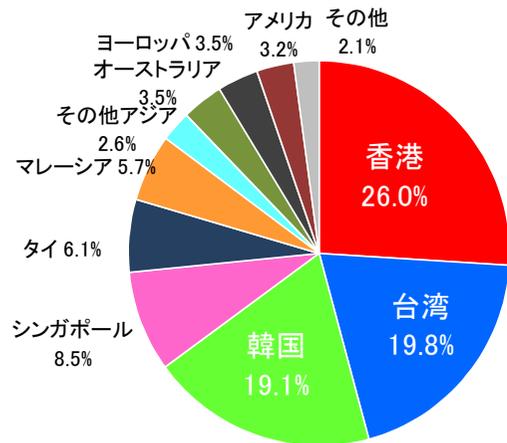
- ・H28年度の貸渡台数は各月とも前年同月を上回る
- ・H29年度第1四半期も同じ傾向 特に5月は前年と比べて約1.7倍



出典:北海道地区レンタカー協会連合会調べ

◆国・地域別レンタカー貸渡台数(H28年度)

- ・上位3ヶ国・地域(香港・台湾・韓国)で全体の約3分の2を占める
- ・東南アジア3ヶ国(シンガポール・タイ・マレーシア)は約20%

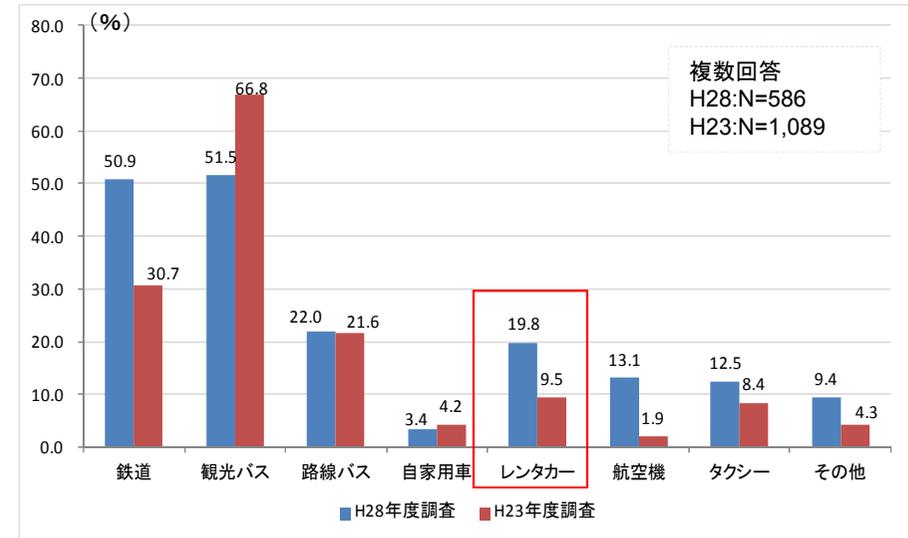


N=62,977

出典:北海道地区レンタカー協会連合会調べ

◆外国人観光客の移動交通手段

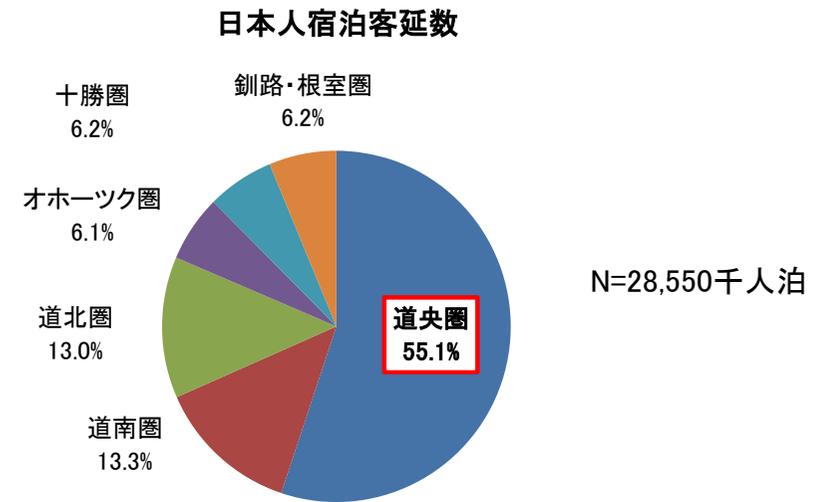
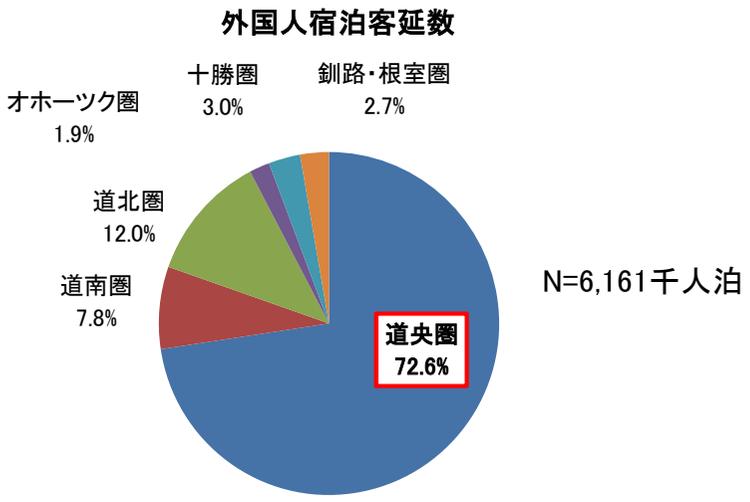
- ・H28年度におけるレンタカー移動はH23年度と比較して約2倍
- ・外国人観光客の約2割がレンタカーを利用



出典:北海道経済部観光局「観光客動態・満足度調査(H23年度・H28年度)」

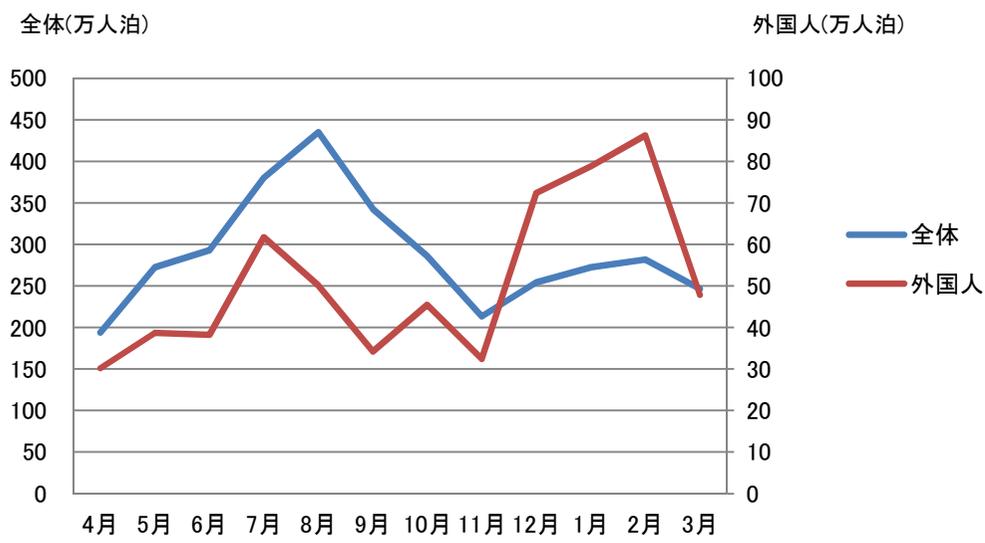
◆圏域別宿泊数延数(平成27年度)

・外国人は日本人に比べても道央圏に集中しており、地域間の偏在が顕著



◆月別外国人来道者宿泊数延数(平成27年度)

・全体として春季と秋季の宿泊者が低調
・特に外国人は夏季と冬季に宿泊が集中している



◆国・地域別外国人来道者宿泊数延数(平成27年度)

・外国人宿泊者のうちアジア圏観光客の割合が多い
・中でも東アジア地域で全体の70%以上を占める

